

平和とは身近なところにあるんだなおこられるのも平和のしようこ

八百津町立八百津中学校1年 佐橋柚香
僕たちは遊びの中で武器を持つ大人と違う平和なけんか

可児市立西可児中学校2年 船橋悠太
あくびをしねむたそうに目をこする世界のどこでもみんな同じ

八百津町立八百津東部中学校1年 松井里紗

(高校生の部)

愛賞

リビングの電気をけすような手軽さで世界を愛せればよかったのに

茨城県立下館第一高等学校2年 星野大和
この夏も戦後と呼ばれる夏であれ飛行機雲が消えてく夕べ

茨城県立下館第一高等学校2年 大幡浅黄

心賞

忘れない恐怖伝える原爆のドームにあった焼けた夏服

長野県穂高商業高等学校2年 藤原大翔
目をとじて火の海に立つ自分見る臉に透ける日はあたたかい

愛知県立瑞陵高等学校1年 安藤友香

勇気賞

蟻たちを無邪気に殺す子供たちぼくらの空は青かったんだ

愛知県立常滑高等学校1年 石塚江莉奈
真っ白なハトに伸ばした小さな手むすんでひらいて地球儀廻る

茨城県立下館第一高等学校2年 三野輪光莉

佳作

朝が来るそのなにげない毎日が今が平和とそう思わせる

愛知県立小牧南高等学校1年 内村鷹翔
毎日が笑顔が絶えないこれからもひまわりのような花が咲いている

沖縄県立糸満高等学校3年 大城海渚

頭から熱いシャワーを浴び続けいつまで友の私でいれるか

茨城県立下館第一高等学校2年 松本聖大
あなたがね手を差しのべてくれたから今の私は花の表情

沖縄県立糸満高等学校3年 金城龍弥
優しさを引き出すようなその瞳もう少しだけそのままでいて

愛知県立杏和高等学校2年 岩田優里

(一般の部)

愛賞

戦争がなければ違う人生を歩んだら祖母は白寿にこの家と死ぬと警報に動かざる祖父殴りしと父の八月

愛知県西尾市 本谷亜紀子
岐阜県関市 大塚雅之

心賞

赤ちゃんは生まれる国を選べないせめて平和な空をください

佐賀県唐津市 古賀由美子
すいとんを旨しうましと食べたる遠き日のありぜんざいうまし

岐阜県関市 嶋田操子

勇気賞

「死にたまふ母」説きて後徒らに煽らず千畝短歌を募る戦争を話したあとの黒板の何故という文字誰れも消さない

兵庫県神戸市 中條 宏
東京都葛飾区 吉田和子

佳作

契約に無き昼食をも出しくれし異国に臥せる孫にマザーは

岐阜県恵那市 西尾亜希子
通訳のいらぬ首脳会談を世界が見つめ我も見ている

岐阜県大垣市 井沢美志津
平成の終わりとともに戦争も消えてしまえと米を磨ぐ母

愛知県名古屋市 石原房子

0歳のピンと伸びたる人差しゆび犬の鼻づら目指して進む

アメリカ合衆国 中條喜美子
名を呼ぶと小さくうなずく入所者に食事介助する終戦記念日

愛知県名古屋市 木村昌資

学校賞

八百津町立八百津小学校

奨励賞

昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校
可児市立西可児中学校

八百津町内小学校優秀賞

虫や花みんなんな生きていきつとそれが大きな奇跡

八百津町立八百津小学校6年 飯田双葉
妹と一しよに歩く登下校合わせる速度ならんでゆくり

八百津町立和知小学校4年 龜谷朋希
だいじょうぶ？おり紙おっぺおみまいだ明日はきてねいっしよにあそぼ

八百津町立錦津小学校3年 山本莉子
ちよつこのことで杉原さんに一歩二歩と近づけるとんな人でも近づける

八百津町立久田見小学校4年 各務礼於菜
アスファルトにたたきつけられうごけないまけるなリスのちいさないのち

八百津町立潮見小学校4年 後藤 綸
窓開けて耳をすませば鳥の声響きわたるよ千畝の町に

八百津町立八百津中学校1年 額 纈悠以
福島原発事故の放射線いまだ残るよ地と心にも

八百津町立八百津中学校2年 伊藤大起
戦争で命をうばったあの時も花は命をつないでいた
八百津町立八百津東部中学校2年 後藤郷汰
ピースサイン空にかざすとふと思ふ私たちは今幸せということ

岐阜県立八百津高等学校2年 小出 颯